



- ★ トリビア (英 trivia、「つまらない何の役にもたない雑知識」の意)
- ★ PC 同好会の都度折々につまらないネタをご提供 (ネタのない時はパスします)

ご提供 : 北村

明治ゲルマン紙幣



◎ 明治初期、新政府の新円紙幣導入による混乱の「ゲルマン紙幣」が登場します。

★バックナンバー (発行記録) (バックナンバー再発行ご希望の方は北村にお申し出ください)

- 2012年度 : No.1 : (でんでら唄) No.2 : (フルベッキ写真) No.3 : (平安京結界図) No.4 : (外国地名漢字表記)
 No.5 : (苗字ルーツ) No.6 : (和製漢語) No.7 : (五畿七道) No.8 : (皇室旗軍旗艦旗) No.9 : (難解姓氏) No.10 : (日本の仏教宗派)
 No.11 : (陸軍部隊) No.12 : (海峡の国際法) No.13 : (海軍艦隊) No.14 : (鉄道唱歌東海道) No.15 : (たこ焼き) No.16 : (阪急電車)
- 2013年度 : No.17 : (アホ・バカ) No.18 : (エスカレーター) No.19 : (江戸八百八町) No.20 : (浪速八百八橋)
 No.21 : (陸軍墓地) No.22 : (大阪の電車) No.23 : (お好み焼き) No.24 : (鉄道の広軌と狭軌) No.25 : (中華料理)
 No.26 : (旧暦と新暦) No.27 : (落語家) No.28 : (プロ野球球団) No.29 : (仏像の色々) No.30 : (交通通行の左右)
 No.31 : (50~60周波数) No.32 : (日本の神様) No.33 : (元号) No.34 : (ホルモン・ドテ) No.35 : (天皇・皇帝・王)
 No.36 : (歌舞伎の系譜) No.37 : (日本のビール) No.38 : (映画の歴史) No.39 : (県名の由来) No.40 : (日本酒)
- 2014年度 : No.41 : (陶器と磁器) No.42 : (三百諸藩) No.43 : (焼酎) No.44 : (国鉄の本線名) No.45 : (ユニオンジャック)
 No.46 : (ワイン) No.47 : (日本刀) No.48 : (世界三大宗教) No.49 : (路面電車) No.50 : (日本の洋食) No.51 : (謀報)
 No.52 : (関東と関西) No.53 : (米海兵隊) No.54 : (支那の語源) No.55 : (薩摩と長州) No.56 : (共産主義) No.57 : (ノルマンディ)
 No.58 : (龍馬暗殺) No.59 : (憲法制定) No.60 : (朝鮮島半島分断) No.61 : (源氏と平家) No.62 : (スパイ・ゾルゲ)
 No.63 : (世界の酒) No.64 : (東大と京大)
- 2015年度 : No.65 : (花押) No.66 : (西郷隆盛の顔) No.67 : (歴史上の国旗) No.68 : (おでん) No.69 : (幕末の開港) No.70 : (寿司)
 No.71 : (ゼロ戦と新幹線) No.72 : (醤油) No.73 : (東京お台場) No.74 : (天ぷら) No.75 : (元寇) No.76 : (参謀本部と軍令部)
 No.77 : (蒸気機関車) No.78 : (日本の城) No.79 : (満洲) No.80 : (町奉行) No.81 : (本能寺の変) No.82 : (旧国名の由来)
 No.83 : (軍用機国籍標示) No.84 : (日本の貨幣の歴史) No.85 : (朝鮮半島) No.86 : (シベリア出兵) No.87 : (大坂の陣 400 年)
 No.88 : (お雑煮)
- 2016年度 : No.89 : (オレンジ計画) No.90 : (すき焼き) No.91 : (スエズ・パナマ) No.92 : (焼き鳥) No.93 : (台湾) No.94 : (うなぎ)
 No.95 : (太平洋戦争の呼称) No.96 : (お茶) No.97 : (アングロサクソン) No.98 : (コーヒー) No.99 : (祇園山笠) No.100 : (二十四
 節気) No.101 : (海軍乙事件) No.102 : (昆布と鰹) No.103 : (神戸事件と堺事件) No.104 : (居酒屋) No.105 : (北海道分割計画)
 No.106 : (井) No.107 : (陸士と海兵) No.108 : (日本の伝統色) No.109 : (地下鉄) No.110 : (早稲田と慶応) No.111 : (幻の大坂
 遷都) No.112 : (琉球・沖縄)
- 2017年度 : No.113 : (プロ野球のサイン) No.114 : (ふぐ料理) No.115 : (暗号) No.116 : (肉じゃが) No.117 : (右前と左前)
 No.118 : (神戸と横浜) No.119 : (航空母艦) No.120 : (新梅田食道街) No.121 : (憲兵) No.122 : (欧州アジア系の国) No.123 : (忍者)
 No.124 : (千島と樺太) No.125 : (靖国神社) No.126 : (地理上のインドの地名) No.127 : (潜水艦) No.128 : (うどんとそば)
 No.129 : (盧溝橋事件) No.130 : (朝鮮と焼肉) No.131 : (日清戦争) No.132 : (鍋料理) No.133 : (日本列島の地政学)
 No.134 : (干支と十干十二支) No.135 : (日露戦争) No.136 : (戒厳令)
- 2018年度 : No.137 : (漢字) No.138 : (ラーメン) No.139 : (戦国大名) No.140 : (二・二六事件) No.141 : (摂政と関白) No.142 :
 (満洲事変) No.143 : (洛中洛外) No.144 : (ロシア革命) No.145 : (守護と地頭) No.146 : (鳥羽伏見の戦い) No.147 : (戊辰戦争)
 No.148 : (日本の財閥) No.149 : (室町の文化) No.150 : (マンホール蓋) No.151 : (西南戦争) No.152 : (ナンバープレート)
 No.153 : (日本と日の丸) No.154 : (餃子と焼売) No.155 : (曜日由来) No.156 : (文字の縦書き横書き) No.157 : (和菓子)
 No.158 : (〇〇の守) No.159 : (尼崎電話局番 06) No.160 : (食品サンプル)
- 2019年度 : No.161 : (大使館と領事館) No.162 : (九州) No.163 : (尊王と佐幕) No.164 : (銃と砲) No.165 : (戦国の旗指物)
 No.166 : (左翼と右翼) No.167 : (日本の伝統文様) No.168 : (カレー) No.169 : (日本の甲冑) No.170 : (阪急電車II) No.171 : (中国
 共産党) No.172 : (家紋) No.173 : (関東軍) No.174 : (牛肉と豚肉) No.175 : (水引) No.176 : (シベリア抑留) No.177 : (新撰組)
 No.178 : (キタとミナミ) No.179 : (船名と艦名) No.180 : (倭寇) No.181 : (軍艦敵傍消失事件) No.182 : (六道珍皇寺)
 No.183 (東京駅の成立) No.184 (チャップリン暗殺計画)
- 2020年度 : No.185 : (新幹線ドクターイエロー) No.186 : (大化の改新) No.187 : (上戸と下戸) No.188 : (三重県は何地方)
 No.189 : (梅田歩道橋と浅草雷門) No.190 : (壬申の乱) No.191 : (大阪環状線) No.192 : (灘と伏見) No.193 : (ブルートレイン)
 No.194 : (水軍) No.195 : (天王寺七坂) No.196 : (東京裁判) No.197 : (日本の頑固) No.198 : (金と銀) No.199 : (ハル・ノート)
 No.200 : (天王山と関ヶ原) No.201 : (日本四分割統治計画) No.202 : (スパイス) No.203 : (ものの始まり何でも堺)
 No.204 : (城の石垣) No.205 : (徳利と盃) No.206 : (チーズ) No.207 : (ゼロの発見) No.208 : (ネクタイ)
- 2021年度 : No.209 : 2021/01/XX A コース (年度の始まり) No.210 : 2021/01/XX B コース (東京大阪京都嫌い) No.211 : 2021/02/XX A コース (琵琶湖疏水)
 No.212 : 2021/02/XX B コース (大阪とソース) No.213 : 2021/03/22 A コース (大日本どけち教) No.214 : 2021/03/29 B コース (切りガラス)
 No.215 : 2021/04/12 A コース (ノモンハン事件) No.216 : 2021/04/26 B コース (仏教の語源) No.217 : 2021/05/10 A コース (南京攻略戦)
 No.218 : 2021/05/27 B コース (S P) No.219 : 2021/06/14 A コース (真珠湾攻撃) No.220 : 2021/06/28 B コース (物の数え方)
 No.221 : 2021/07/12 A コース (ミッドウェイ海戦) No.222 : 2021/07/26 B コース (平将門と神田明神) No.223 : 2021/08/XX A コース (ガダルカナル島戦)
 No.224 : 2021/08/XX B コース (孝明天皇毒殺説?) No.225 : 2021/09/XX A コース (インパール作戦) No.226 : 2021/09/XX B コース (芸者と芸妓と舞妓)
 No.227 : 2021/10/XX A コース (沖縄地上戦) No.228 : 2021/10/XX B コース (幕末の金銀流失) No.229 : 2021/11/XX A コース (本土空爆と原爆投下) (裏面あり)

明治新政府の財政通貨の課題 : (諸藩については、No.42「三百諸藩」、貨幣制度については、No.84「日本の貨幣の歴史」、幕末金銀流出については、No.228「幕末の金銀流出」、をご参照)。

明治新政府の課題 : 倒幕を果たし、中央集権近代国家を目指す明治新政府は、当初、江戸期の貨幣制度をそのまま受け継いだ。金(係数貨幣：東日本)・銀(秤量貨幣：西日本)交換制の統一、4進法(1両=4分=16朱)の貨幣体系、各藩が独自に発行していた藩札の整理、幕末開港による金銀内外比価差による金銀貨幣の大量流失、戊辰戦争での戦費消費財政逼迫、等の課題が山積していた。

太政官札の発行 : 慶応4(1868)年旧暦5月15日、新政府(太政官政府)は、参与兼会計事務掛三岡八郎(福井藩士・後由利公正)の建議により、太政官札(金不換紙幣：10両・5両・1両・1分・1朱の5種・通用期限13年間)を、4,800万両(現代価38億円相当)発行するも、贋札も出回り混乱す。



新貨条例による「円」の登場 : 明治4(1871)年旧暦5月10日、大蔵大輔大隈重信(肥前：参議大蔵卿～明治14年政変下野～東京専門学校(早稲田大学)設立～外務大臣～首相～農商務大臣～貴族院議員・伯爵)により新貨条例が制定され、新貨幣単位『圓(円)』が採用され、『1円=100銭・1銭=10厘』の10進法単位となる。

明治新政府の円紙幣 : (新円貨紙幣の印刷は、偽造防止と精密印刷技術上、外国への発注となる)。

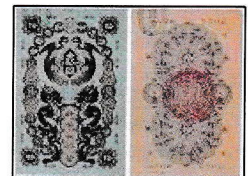
ドイツへの印刷発注 : 明治政府は、独(当時北ドイツ連邦→ドイツ帝国)ヘッセン州のドンドルフ・ナウマン社に新紙幣を発注す(総額5,000万円：この明治新紙幣は通称『ゲルマン紙幣』と呼ばれる)。

ゲルマン紙幣の日本で一部追加の作業 : 明治4(1871)年旧暦12月以降、発注のゲルマン紙幣が届き始め、安全対策のため未完成としていた、「明治通宝」の文字を、100名の執筆者で手書き記入してゆくも、日数がかかりすぎ間に合わず、木版印刷での印刷記入に変更す。

ゲルマン紙幣の流通 : 明治5(1872)年旧暦4月以降、ゲルマン紙幣が発行され、流通す。

ゲルマン円紙幣と旧貨幣・太政官札・藩札との交換回収 : (旧貨回収の過程で混乱す)。

ゲルマン紙幣の不備 : 流通に伴い、全札(100円・50円・10円・5円・2円・1円・半円・20銭・10銭)寸法、図柄が同一、紙が洋紙で日本の高温多湿で変色損傷が発生、額面変造や紙幣偽造が多発す。



印刷会社の経営難と原図原版の譲渡 : 明治6(1873)年旧暦10

月9日、印刷発注先の独ドンドルフ・ナウマン社が受注印刷設備投資過剰で経営難となり、日本への売却引き渡しを申し出、以降の印刷は大蔵省紙幣寮(後紙幣局→大蔵省印刷局)が印刷す。

太政官札1両
(左表・右裏)

ゲルマン紙幣10円
(左：表・右：裏)



太政官札 : 新貨条例で、交換率を「旧1両=新1円」とするも、偽造多く、価値は下落、交換は、明治12(1879)年2月、で終了す(贋造は、福岡藩(後露見、関与者5名斬首)、秋田藩、広島藩、横浜居留地外人、と伝わるも、その他多数の諸藩も偽造ありと云われる)。

藩札 : 江戸期、各藩が自領内通用のみで発行の紙幣(藩私的紙幣)で、寛永7(1630)年、福山藩銀札が、寛文1(1661)年、福井藩銀札から始まり、幕末迄、全276藩中244藩(1,697種、総額3,855万円相当)が発行したと云われる。

太政官札・藩札の円紙幣との交換 : 政府太政官札は当然ながら、各藩発行の旧藩札の交換も、明治新政府の責任となり、太政官札同様、旧藩札の交換率を「旧1両=新1円」とするも、太政官札、なかんずく、藩札は暴落し、これに乗じ一攫千金を求める商人、山師が、交換価値の維持出来そうな藩の藩札を求めて全国駆け巡り、また、多数の偽藩札が出回り、混乱す。

日本銀行券の発行 : (明治15(1882)年旧暦6月、日本銀行条例により日本銀行が開業す)。

日本銀行券 : 明治17(1884)年以降、日本銀行(中央銀行)が紙幣(日本銀行兌換券)を発行す。



ゲルマン紙幣の廃止 : 10銭札は、明治20(1887)年6月30日廃止、それ以外は、明治32(1899)年12月30日廃止、となり、ゲルマン紙幣の流通は廃止され、日本銀行券に入れ替わる。

最初の日銀札(10円) 同(5円)

ゲルマン円紙幣の廃止 : (明治20(1887)年6月30日、10銭廃止、明治32(1899)年12月31日、その他紙幣すべてが廃止された)。